
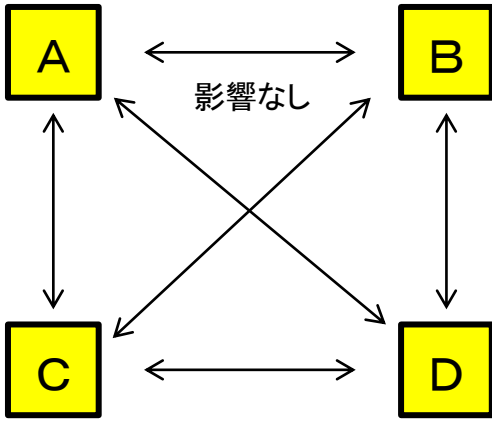


# 「エリア別協議組織」設置のイメージ

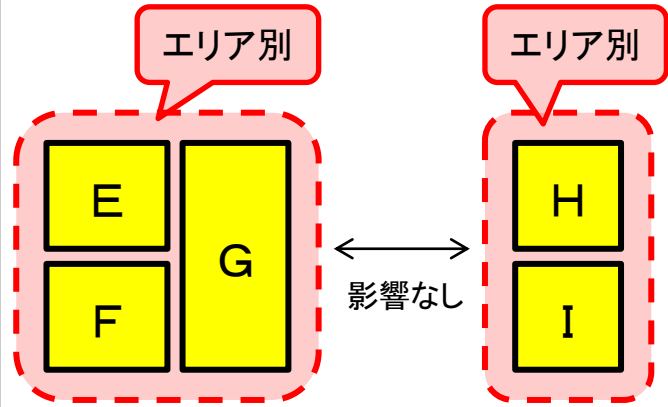
 エリア別で協議すべき範囲

## タイプA(独立・点在型)



- 「A」～「D」の現場は相互に影響を及ぼさないため、「エリア別協議組織」の設置は不要

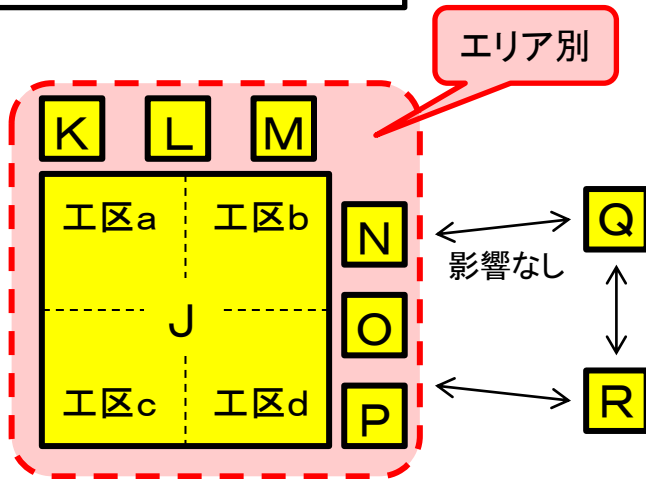
## タイプB(近接・密集型)



※署等が現場指導時にエリア別協議組織の設置を指導

- 影響を及ぼす範囲ごとに「エリア別協議組織」の設置が必要

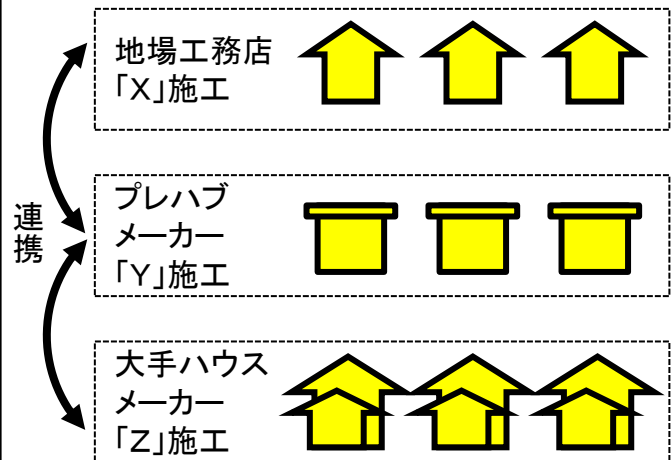
## タイプC(大規模開発型)



※署等がエリア別協議組織の設置若しくはエリア別協議組織への参加を指導

- 「大規模開発」現場「J」では、各工区を集めた協議体制を構築
- 「J」に近接する工事のうち、影響範囲(「K」～「P」)にある現場を既存の協議体制に含め、「エリア別協議組織」とすることが適当

## タイプD(住宅団地型)



- 「住宅団地」の場合、それほど輻輳は予想されないが、「資材の搬入」や「大型機械の使用」等相互に影響を及ぼす可能性がある。
- 「エリア別協議組織」の設置までは要しないが、各住宅施工業者が、必要の都度、連携することが必要